



8月30日“明日のため”に大切な一票を！

衆議院選挙まで30日余り…。衆議院解散が遅いと批判が出たが、麻生首相ようやく天下の宝刀、衆議院解散を決断した。100年に一度の大不況の中、当初予算、補正予算、重要法案等を成立させるために衆議院を解散しないで、国民のために景気回復を最優先させた麻生首相は間違っていない。

しかし、自民党のドタバタ劇（麻生降ろしや東国原宮崎県知事発言）や民主党・鳩山代表の「故人からの献金問題」に目を覆いたくなる…。内政・外政とも混迷の中「田中角栄」のような、偉大なリーダーが生まれないと日本は世界（中国）の中に埋没してしまうと思うのは私だけだろうか…。

戦後日本は「所得倍増」「列島改造」「経済大国」と長期安定政権のなかで、私たちは豊かな生活を傍受できたことに感謝する。しかし、高度経済成長の時代はおわり、自民党・民主党、誰が政権を握ろうが、日本の進む方向を変えなくては、私たちの将来が心配だ…。

私たちの命を守り、暮らしを守るために以下のことを政権与党および政治家に強く望む。

- ① 工業・輸出を優先する政策は誤りではないが、土地の荒廃がすすみ農業が縮小し食糧自給率は主要国で最低となった。工業・輸出も発展させながら農業重視へ大転換。
- ② 経済優先で環境に主要国で意識が最も低い。大量生産・大量消費ライフスタイルであった。今後は、経済も発展させながら環境・安心重視へ大転換。
- ③ 道路・橋等の公共事業を重視し安全な住みやすい町を築いた。道路等の整備もほぼ終わったので、福祉の充実へ大転換。
- ④ 政財界の癒着や天下りが無くならないのは、国税重視の中央集権であるからでないだろうか。地方の自立、地方分権へ大転換。
- ⑤ 化石燃料（石油）には限界がありこのままでは100年くらいで枯渇してしまう。原子力発電と調和を図り、安全と環境を重視し自然エネルギー（太陽・風・水・地熱・雪）に大転換。

8月30日に皆さんの「清き一票」を投票することが、私たちの生活を豊かにすることにつながります。自民党、民主党、公明党…どの党が日本の明日と将来を考えているのか、しっかりと見極めなければなりません。そして、ここ5区の選挙区は4人の候補予定者がいます。「明日のために・10年先のために」私たちの要望をしっかりと受け止めてくれる若い候補者を国会に送ろう。



国会議事堂

6月議会(9日～19日) 議会最終日の波乱!!

本議会には自治法の定めにより3つの第三セクター(①土地開発公社②しゃくなげ湖畔開発公社③八海山「白の世界」文化村)の20年度収支、21年度収支計画が報告される。特に土地開発公社については、抜本的な対応をしないとますます市の財政を圧迫する。

議会最終日、ある提案に対し賛成・反対が同数となり議長裁決が3件あった。ベテラン議員は「長く議員をしているが、このようなケースは初めてだ」という!!

特に、「国直轄事業負担金の廃止を求める意見書について」井口市長は、「…意見書の提出は、国の事業採択に悪影響が出るおそれがあるし、特に今は、国道17号浦佐バイパスが凍結になつており、国を刺激することになり、今の時期は慎重になつてもらいたい…」と、休憩中に異例の発言をした。それにもかかわらず、このことについても反対・賛成同数となり議長の賢明な裁決でようやく否決される。今回のことを通じて、市長と党の19名は「17号浦佐バイパスの事業中止」を招くような、地域の活性化に逆行する行動をとってはならないと改めて思った。

● 一 般 質 問 ●

傍聴者のみなさまご苦労様です。お忙しいところお出でいただき感謝申し上げます。今、議会では市民に開かれた議会を目指し議会改革に取り組んでおります。こうして皆さんが議場にお出でいただくことが議会改革の第一歩です。これからもお誘い合わせのうえ議場にお出でください。

さて、先に通告いたしました3点について質問いたします。

まちづくりについて

2年に及んだ「毘沙門様千年のまちづくり」ワークショップは、地域の様々な問題や課題をみんなで共有し、これからのまちづくりに大きな夢と勇気を与えた。ワークショップは日本では「体験型講座」を指す用語で、本来は「作業場」「工房」という意味で、今ではまちづくりの合意形成の手法として幅広く取り入れられている。

ワークショップは、何も無いと思われていた地域が「実は宝の山」であり、「千年の昔から現代と続く大きな流れ」の中にあつたことを感じさせてくれた。

この先の未来のために今何をすべきなのか…！宝は、子どもの時遊んだ西山であり、毘沙門様であり、そして八海山と八色原に広がる田園でした。ワークショップを通して、今地域は新たな一歩を踏み出そうとしている。そういう中で、以下の3点について質問する。

(1) 大和都市計画事業の見直しについて

2年間で十数回に及んだワークショップの行き先は、毘沙門様に似合った街並みだ。毘沙門様に似合った街並みは、生活の臭いがし歴史や昔をほうふつさせる建物や食。けばけばしい看板類は不要だ。道路は車優先で無く人が優先する。県道幅も今のままでいい。

ところが現在は16に広がるという都市計画が実在する。その都市計画は、昭和46年10月12日に新幹線浦佐駅停車決定を受け、昭和48年に計画されたも

ので、当時大和町の人口が倍の3万人になると予想しての計画だ。

人口が3万人になるという、当時から37年が経過し社会情勢は一変している。

この都市計画がある以上、毘沙門様に似合ったまちづくりは出来ない。平成18年3月の一般質問でこの問題を取り上げており、都市計画見直しの進捗状況を伺う。

〈市長答弁〉

実情とそぐわないので都市計画の見直しは必至で、19年から基礎調査に入り、21年度から用途地域の検討に入る。22年度に見直し作業に入り23年に見直す。

(2) 景観計画の策定について

平成20年3月31日に、県内5番目で景観行政団体となり、2年前の19年12月の議会で私の質問に市長はこう応えている。

「20年からの3カ年で景観計画を策定する。こういう予定を今立てて取り組んでいるところであります。20年からの3カ年で景観計画の策定にあたっては、市民のみなさまからの合意にもとずいた有意義な計画、これはもうやらなければならないわけでありますので、学識経験者、市民の皆さん、そして関係団体の代表、これらによる検討委員会を立ち上げていく。そういうスケジュールを立てているのでご理解をいただきたい」と答弁している。

20年度は予算は付きませんでした。1年くらいの遅れは仕方ないと思っており、21年度からいよいよスタートだと思っていたら21年度予算にも計上されていない。私が知る限り、担当部署ではそれなりの予算要求はした。一体どうなっているのだ。

南魚沼市の総合計画、基本構想の第1章、南魚沼市の将来像には、「豊かな自然や文化伝統…」と記載されており、将来のまちづくりの中心に自然を据え、自然の大切さをうたっている。

今その自然が景観が損なわれるおそれがあるので、市長は県内でいち早く「景観行政団体」になった。景観計画が策定されなければ意味が薄い。是非とも補正で予算を付け、市長が話した「景観計画策定検討委員会」を今年度立ち上げるべきとおもうが、市

4月6日 国際情報校入学式



トピックス



4月20～21日 米沢市・会津若松市訪問

5月2日 おせったいの会スタート



5月13日 17号バイパス国へ陳情

長の見解を伺う。

〈市長答弁〉

20年から22年の3年で計画策定と思ったが、経費節減と効率よく進める意味からも、都市計画の見直しと並行に進めようと計画変更したが、準備が整えば先行してもかまわない。

(3) 基幹病院を核としたまちづくり

この6月13日の新潟日報に、基幹病院の診療科目や病床数。そしてやまと病院との関係は等々、基幹病院が27年の開院に向けて準備が進んでいる様子が掲載されていた。

知事は魚沼地域は、「本県のなかでこれだけ魅力があり、発展の可能性のある地域は無い。国際大学・北里大学・情報高校があり、そして東京と直結する新幹線…。そして世界に誇るコシヒカリときれいな水と雪。そして人情豊かな人々…」と絶賛している。

それにもかかわらず、南魚沼市も例外なく人口は減少している。新潟県は毎年人口が1万人ずつ減少している。

知事は、アメリカのカナダ国境に近いミネソタ州のロチェスタ市にあるメイヨークリニックの病院や聖路加病院のように、多くの人々が魅力を感じてこの魚沼に集まって来るような、「基幹病院」でなければならぬと話しているが市長の考えをうかがう。

〈市長答弁〉

基幹病院を核とした町づくりを目指し、国の「地域総合健康サービス産業創設プロジェクト」に名乗りを上げ、人口が増える健康・医療・福祉の町づくりに取り組む。

「直江兼続・愛博」の開催について

今、景気回復のために、国は財政健全化を先延ばしをし、打てる施策・考えられる事を全ておこなっている。

今我が市は、他の市町村がうらやむほど、NHK大河ドラマ「天地人」の放映で観光客が来ており、

ホテルや旅館の宿泊客は増加しみやげもの屋やそれらに関連して、他の産業も潤っていることは確かだ。

この「天地人博」を一年で止めるのはもったいない。「天地人博」会場をリニューアルしもう一年継続する。

もう一度「直江兼続」に迫り、PRする事が南魚沼市に今年と同じように多くの観光客が来る。

「ゆきぐに観光圏」と連携し、生誕地南魚沼市「直江兼続・愛博」を開催すれば、20万～15万人の来場は可能と思うが市長の考えを伺う。

〈市長答弁〉

企画展的なことは考えていたが、直江兼続公に焦点を当てて常設的に開催するという事は、場所内容も含めて検討する。

「土地開発公社の土地」について

5月8日総務文教委員会が開催され、市政にムダが無いのか！市民サービスは万全か！という視点から、午前現地・午後から事務調査を行ない調査は七項目にわたった。

特に、市所有の遊休地・土地開発公社の財産、19件・約18㍉の遊休地の実態をあらためて知り驚いた。金額ベースで、市所有は1億9千万円、土地開発公社は12億9千万円、合計で15億円が塩漬けされてる。

現在売却見込みのものが3件・面積で76㍉、1億5千万円は解消されますが、ほとんどの物件は売却・利用の見込みが全くたらず、ほとんどの土地は放置されたままだ。担当課では利用や売却もふくめ対応しているが、これからの社会情勢を考えたとき売却は難しい。かといって、このまま放置しておくことはゆるされません。抜本的な対応が必要だが、市長の見解を伺う。

〈市長答弁〉

大変苦慮している問題であり、売却するにしても市が億単位の負担をしなければならないと思っている。いつまでもこのまま放置しておかれないので、4年間の在任中に方向づけをしたい。

5月19日 市政懇談会



6月7日 東京やまと会総会

6月13日 病院通りサルビア植え



6月22日～23日 政務調査廃校視察

★「魚沼基幹病院」開院に向かってスタート！

6月県議会で、基幹病院関係の予算が補正で計上され決定された。内容は基本設計費110,000千円、敷地調査費8,374千円、その他調査費3,813千円。

平成12年に小出病院の改築に端を發し10年の歳月を得て、ようやく予算がついた。23年着工、27年6月の開院を目指して今度は進む。基幹病院と大和病院、基幹病院と六日町病院、大和病院と六日町病院の役割等の細かなところはまだ決まっていない。21年～22年が基本設計、22～23年が実施設計となっており時間はある。大和病院の将来の決定にそこで働く先生、看護師、職員の多くの方が関わることが大切ではないでしょうか。そのことが安心される地域医療体制の構築と働く職員の環境の改善になると思う。



ゆきぐに大和病院



★毘沙門様「千年のまちづくり」シンポジウム開催

7月4日、午前は一部として「33番観音様めぐり」に25名が、「浦佐城跡・薬師様の散策」に11名が参加する。

午後からのシンポジウムには、井口市長様、県地域整備局の阿部地域整備部長様、湯田企画振興部長様からも出席いただき120名の参加の元、盛大に開催することが出来ました。



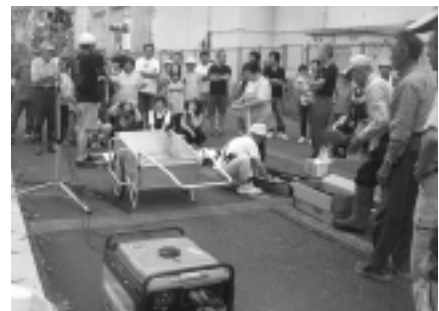
シンポの内容は、三年間で活動組織が11団体発足したその活動報告を9名の方がパワーポイントを使って報告する。そして、今日のメインである講演会「毘沙門様を核としたまちづくり」と題して、グリーシグマの専務・相楽治様よりご講演いただく。最後に「まちづくりの今後の展望について」として県、市の三人様から話をいただく。

三年間のまちづくりのワークショップ(話し合い)の総括と新たなるまちづくりのスタートができた。ご指導いただいた関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

★南魚沼市防災訓練

7月5日午前6時53分市一体を中心としたマグニチュード7.2の直下型地震が発生し震度6強を観測、7時15分に災害対策本部が設置。その後大規模の余震の発生、折からの梅雨時期で魚野川も「はん濫注意水位」に達すると言う想定のもと、大規模の訓練が大巻中学校を会場に行なわれる。

7.13水害から5年、中越地震から5年、災害は忘れた頃にやってくるの諺にあるように、災害の発生は予防することは出来ないが、日頃からの訓練・意識が災害を最小に食い止める。そして、隣近所両隣と言われるように、地域での日頃からの声かけやつき合いが大切です。地震、火災、土石流等の災害が発生したら、隣近所声を掛け合い安否を確認する。そのことが人命を助ける最良の方法と先の防災訓練で改めて知る。



新町防災訓練

●編集後記●
孫の翔乃介7月28日で1歳です。ハイハイは早いし立ち歩きをし、大声を發つし呼ぶようになった。誕生日には餅を搗いて一升もちを背負わせるようだ。人様を見ていて「孫に対して何でそこまでかわいがるのか分からなかった」が、今はよく分かる。...

梅雨が明けると暑い夏の到来です。「八色西瓜」は、夏の代名詞です。スイカをほおぼり夏ハテを防ごう。夏は寝不足や疲れがたまりやすいです。ゆとりある運転に心がけ交通事故に気をつけましょう

「関常幸後援会」夏期研修会

8月23日(日)

「天地人」上越・与板

史跡巡りとバーベキュー大会

●上越市…天地人博と林泉寺、春日山城跡

●旧与板町…お舟・兼続ミュージアム、徳昌寺

【参加費】・「天地人」上越・与板史跡バスツアー…4,000円

(三ヶ所入館料、バス代他) 昼食持参

・バーベキュー大会…2,000円

申し込みは各町内の世話人の方へお願いの予定です。

詳しい事は「関常幸後援会」090-2154-9928まで連絡ください。

申し込みもお引き受け致します。